#### 関連レコード⇒サブテーブル登録プラグイン

関連レコードに表示されているレコードを、特定のアプリのサブテーブル内へフィールドデータをコピーするプラグインです。

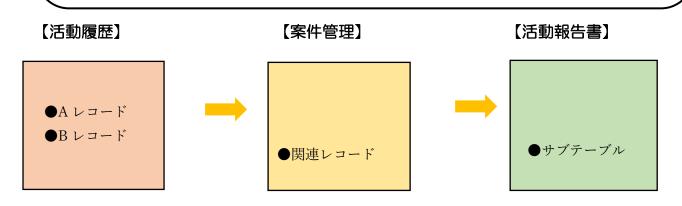


今回はアプリパック「**営業支援パック」**から「**案件管理」「活動履歴」、**1から作成した「**活動報告書**」を使って使い方を解説します。

#### 実現したいこと

担当者が案件に紐づく作業を行った際、案件管理より活動履歴に活動内容を登録していきます。

「**案件管理**」のレコードには案件ごとの「**活動履歴**」を関連レコードで表示しています。この活動履歴を別アプリにコピーして新たに「**活動報告書**」として、1レコード内のサブテーブルフィールドへ活動履歴のレコード内容を登録します。



# Step1 連携先アプリの設定

コピー先のアプリ(今回は「活動報告書」)に関連レコード元のフィールドと 対応するフィールドを作成します。(対応フィールドについては後ほど記述) サブテーブルに変換するフィールド以外に、レコード追加時にコピーしたいフィール ドがある場合作成しておきましょう。(①)

今回は日付、文字列 1 行、文字列複数行のフィールドを作成し、**サブテーブル化**しました。(②)



## Step2 プラグイン設定をしましょう

連携元のアプリ(「案件管理」)のプラグイン設定画面を開きます。



- ① 連携元のアプリに表示するアクションボタンの名前を入力します。
- ② コピー先アプリを選びます。
- ③ このプラグインを利用するユーザーを選択します。



- ④ Step1 の①で作成したコピーしたいフィールドを選びます。
- ⑤ コピーする関連レコードとサブテーブルを選びます。
- ⑥ 関連レコード、サブテーブル内のフィールドを選びます。

全て選択できたら保存しましょう。

※対応するフィールドがない場合⑥に何も表示されません。

## Step3 関連レコード⇒サブテーブルへ

連携元のアプリ(「案件管理」)のレコード詳細画面に先程設定したボタンが表示されます。



レコードに値が入力されている状態で押します。



保存するを押します。

### Step3 関連レコード⇒サブテーブルへ



連携先アプリ(「活動報告書」) にレコードが登録されました。 登録したレコードを開くを押すと、連携先アプリの作成されたレコードを確認 する事ができます。



# 対応フィールド

関連レコードフィールド	コピー先のサブテーブルフィールド				
文字列1行	文字列1行	リンク	ドロップダウン	ラジオボタン	文字列複数行
数值	文字列1行	数値	文字列複数行		
リンク	文字列1行	リンク	文字列複数行		
文字列複数行	文字列複数行				
リッチテキスト	リッチテキスト	文字列複数行			
チェックボックス/複数選択	チェックボックス	複数選択			
ラジオボタン/ドロップダウン	ドロップダウン	ラジオボタン	文字列1行	文字列複数行	
日付	日付				
時刻	時刻				
日時/作成日時/更新日時	日時				
ユーザー選択/作成者/更新者	ユーザー選択				
グループ選択	グループ選択				
組織選択	組織選択				
計算/レコード番号	数値	文字列1行	文字列複数行		
サブテーブル	サブテーブル				

### 注意事項

#### ●動作環境について

- kintone の動作環境に準じますが Internet Explorer は非対応です。
- •safari をお使いの場合、ダウンロードされたファイルが自動的に解凍されますので、 以下の設定をお願いします。

⇒safari の環境設定から「一般」をクリック、一番下の「ダウンロード後、安全なファイルを開く」のチェックを外す

・ご利用のパソコンのスペック・ネットワークの通信速度、 対象レコード数により処理時間が異なり、また動作が停止する場合がございます。 スペックアップ又はメモリ使用量の低い状態での実行をご検討くださいませ。

#### ●アクセス権について

プラグインで設定している項目にアクセス権限を付与すると、プラグインが正常に動作しなくなります。

●ゲストスペースでのご利用について

連携元、連携先ともにゲストスペース内アプリ→ご利用可能 連携元(通常スペース内アプリ)、連携先(ゲストスペース内アプリ)→ご利用可能 連携元(ゲストスペース内アプリ)、連携先(通常スペース内アプリ)→ご利用不可